



② 第一次大極殿内



④ 平城京歴史館／遣唐使船復原展示



③ 平城京なりきり体験館 平城宮仕事体験



⑤ 衛士による朱雀門の開門



案内していただいた
(社)平城遷都1300年記念事業協会の
中村英三郎さん(中央)



なっきょん's CLUB がゆく!



学校教育教員養成課程 1回生
浜田丹生さん

総合教育課程 1回生
中川由利恵さん

今年、奈良は平城京に遷都されてから1300年の節目の年になります。県内各所では、平城遷都1300年祭にちなんで様々なイベントが開催され賑わいを見せています。今回は、そのメイン会場でもあり大学からもバス一本で行ける「平城宮跡会場」を学生広報スタッフ『なっきょん's CLUB』が体験レポートします。

① 天平衣装の体験

平城遷都1300年祭 平城宮跡会場

ぶらり散策ガイド



都の中心ではるか1300年前をおもひ

なんと(710)見事な平城京。かつてこんな語呂合わせで試験を乗り切った方もおられるのではないのでしょうか。はるか1300年前の710年ここ奈良に元明天皇によって平城京が遷都されました。その中心となったのが、奈良市の西、近鉄大和東大寺駅と新大宮駅の間に突如現れる広大な場所、平城宮跡です。宮城である大内裏があったとされる場所です。

ここでは、遷都1300年祭のメイン会場として11月7日まで連日さまざまなイベントが繰り広げられます。会場では、実物大の遣唐使船を展示した平城京歴史館や疑似発掘体験や天平衣装体験ができる平城京なりきり体験館などを設けて、来場客をはるか奈良時代へいざなってくれます。わずか50cmほど掘れば遺構がでてくるこの場所でイベント用建物を建てる際には遺構を壊さないように盛り土を行い、緩衝材を敷くなどして重みを分散させるなど、遺構保護の工夫がされているそうです。

① 天平衣装でタイムスリップ

今回レポートを担当するのは、教育学部1回生の中川由利恵さんと浜田丹生さん。2人とも他府県出身で平城宮跡に来るのは初めて。早速、当時にならう天平衣装に変身してみました。ちなみに中川さんの着ている紫のほうが、位が高いとのこと。感想は：ただ暑い。

② 都の四方をかためる聖獣たち

朱雀門から北に約800mのところ、今回復原された第一次大極殿がそびえています。その間には大きくひろげる前庭があり大きな大極殿がより一層雄大な姿に映ります。前庭では天平衣装を羽織った来場者も多く

④ 日本の未来のために

遣唐使は命をかけた旅へ

会場の南西にある平城京歴史館。多くの人で賑わう人気施設です。館内では、遣唐使の歴史を映像で紹介したり、外国使節団が見た当時の平城京の様子を大画面で見ることが出来ます。

会場に併設して実物大で復原した遣唐使船が展示されています。630年より始まった遣唐使は、多くの先進的な大陸文化を日本に伝えました。歴代遣唐使の中には、奈良教育大学キャンパス内にある吉備塚の由来ともなった吉備真備も含まれています。当時はまだまだ命がけの航海であったとのこと。遣唐使船に乗船してみるとその精巧なつくりが驚かされます。遣唐使の代表である遣唐大使の部屋も当時と同じく船尾付近に復原されています。(一般500円、高校・大学生250円、小中学生200円)

⑤ 敵かな衛士の姿に佇立す

会場の南にある朱雀門では、朝と夕方に衛士隊による開閉が行われます。夕日に照らさ



見られ、まるで当時へタイムスリップしたかのような錯覚に陥ります。

大極殿内の壁には、四方方向を守る聖獣、四神が描かれています。北の玄武、南の朱雀、西の白虎、そして東の青龍です。これらは、日本画家である上村淳之さんが実際に現場に足場を設け描かれたもので、壁には他にも十二支が描かれていました。

また、中央には当時の天皇がお座りになった高御座(たかみくら)が展示されています。その前に立つと天皇がご覧になったであろう景色を眼下に望むことができます。

③ いつの時代も仕事は大変

大極殿から東へ、第二次大極殿跡を抜けると疑似発掘体験や平城宮仕事体験ができる『平城京なりきり体験館』があります。ここでは、発掘現場に似せたスペースで、発掘調査の一端に触れることができます。疑似発掘体験や天平衣装をまとい、平城京の映像を背景に写真撮影ができる「天平衣装体験」など様々な体験ができます。今回は、奈良時代の役人の仕事である木簡文書の作成体験「平城宮仕事体験」をしました。(一般500円、高校・大学生250円、小中学生200円)パソコンや携帯電話での文章作成に慣れてしまった今、筆を使って木簡に文字を書くのは大変。とても集中力が必要です。作成した木簡は記念に持ち帰ることができます。

れ朱色に輝く朱雀門に太鼓の音がゆっくりと響きわたります。一打、一打ごとに動きをなす威風堂々とした衛士たちの姿に、観覧する人たちは息をのみ、その一挙手一投足に視線を集めていました。

大学で開催する1300年祭関連イベント

寧楽夏季・秋季講座
奈良教育大学名誉教授陣による
様々なテーマの講座
夏季：8月7日(土) 13時~17時
秋季：11月6日(土) 13時~16時
無料・申込不要

本学独自のイベント

『新築師寺旧境内遺跡展』
学内遺跡新築師寺旧境内で近年検出した
遺物や復原模型などを展示
1月29日(土)までの平日
土曜13時~17時(白・祝休館) 無料

アクセス

遷都1300年祭平城宮跡会場には、大学からバス一本で行けます。
大学前には奈良交通定期バス操車場『高畑町』バス停から「38系統赤膚山ゆき」「260系統学研北生駒ゆき」乗車。約25分(近鉄奈良駅経由)。「二条大路四丁目」下車す。